掲示板のことば

阿弥陀仏（あみだぶっ）
此（ここ）を去（さ）ること
遠（とお）からず

難しいなぁ、と感じておられるでしょうね。『仏説観無量寿経』というお経に説かれている言葉です。意味は、阿弥陀如来という仏さまは、ここから決して遠くないところにいらっしゃる、となります。

別の経典には、阿弥陀如来がいらっしゃる浄土という世界は、西の方角、それも、気が遠くなるような、はるか彼方（かなた）にあると説かれます。そこへ向かって、一生懸命に努力してたどり着こうとしても、何年かかるか分かりません。たどり着けるのかどうかも、あやしいものです。

実は、阿弥陀如来という仏さまは、常に私たちに呼び掛け、気付いてほしいと願っておられるのですが、私たちには聞こえてこないのですね。

メーテルリンクの『青い鳥』という物語があります。チルチルとミチルの兄妹が、幸福の象徴である青い鳥を探しに行くのですが、探しても探しても、見つけることができず、結局のところそれは自分達に最も身近なところにある、鳥かごの中にあったというお話です。

阿弥陀如来という仏さまも、私たちが、その呼び掛けを受け取ることができたら、遠いようで近い・・・、と感じることができるのでしょう。

真宗大谷派　光明寺住職　小林尚樹